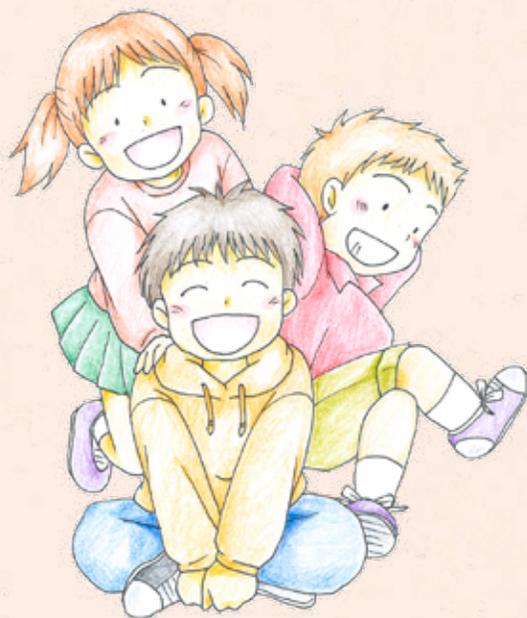


特定非営利活動法人 関西こども文化協会

2022 年度事業報告書



子どもたちが当りに育つ社会を目指して

子ども達の現状はどうなっているのでしょうか。データのように、子どもを取り巻く環境は年々悪化しています。いじめ、不登校、虐待は増え続け、子どもたちが命を落としてしまうケースも後を絶ちません。また、不登校の子どもたちの数は増え続けていますが、いまだに学校内外での受け皿は足りていません。さらに相対的な貧困状態にある子どもたちは7人に1人のばり、家庭の経済状況が子どもたちの学びや育ちに大きな影響を及ぼしています。子どもたちが当りに育ち、学び、成長していくための環境が整っていないのが現状だと言えます。

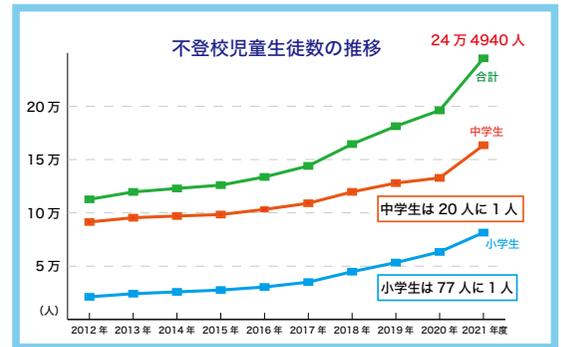


2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続ぎ、感染を予防しながらの生活となりました。社会の大きな変化は子どもたちがストレスや不安を抱えたまま孤立する要因となっています。

2022年10月に文部科学省が公表した「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は615,351件（前年度517,163件）であり、前年度に比べ98,188件（19.0%）増加しました。

小・中学校における不登校児童生徒数は244,940人（前年度196,127人）であり、前年度から48,813

人（24.9%）増加。在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は2.6%（前年度2.0%）。過去5年間の傾向として、小学校・中学校ともに不登校児童生徒数及びその割合は増加している。2016年と比較すると、小学校0.5%→1.3%、中学校3.0%→5.0%と増加しています。



小・中・高等学校から報告のあった自殺した児童生徒数は368人（前年度415人）。調査開始以来過去最多であった昨年度より減少したものの、小中学生は増加傾向にます。

	小学校	中学校	高等学校	合計
2019年度	4人	91人	222人	317人
2020年度	7人	103人	305人	415人
2021年度	8人	109人	251人	368人

文部科学省は調査結果から、新型コロナウイルス感染症によって学校や家庭における生活や環境が大きく変化し、子どもたちの行動等にも大きな影響を与えていることがうかがえる。人と人との距離が広がる中、不安や悩みを相談できない子どもたちがいる可能性があること、子どもたちの不安や悩みが従来とは異なる形で現れたり、一人で抱え込んだりする可能性があることも考慮する必要があり、引き続き周囲の大人が子どもたちのSOSを受け止め、組織的対応を行い、外部の関係機関等に繋げて対処していくことが重要であるとしています。

当法人は、子どもたちが当りに育つ社会を目指して、子どもたちが抱える不安や悩みに真摯に対応すべく、行政からの委託事業及び法人の自主的事業を展開しました。



子ども支援事業

ティーンズスペース

開設毎週水曜日 年間49日
のべ利用者数：360名

大阪市旭区高殿の市営住宅で、10代の子どもたちが安心して過ごせるよう、スタッフが寄り添っています。



旭区役所の協力を得て、校区内の小学校、中学校でチラシの配布や、スタッフがポスティングを実施しました。その結果小学生の利用者を増やすことができました。主な利用者が小学生となったことで子ども達の楽しそうな声が響く空間となりました。スライムづくりや綿あめづくりなど、体験してみたいという声を聴き実施。情報や知識はあるが実際の経験は少ないようで、五感で感じ体験できる場となりました。

これまで主に利用していた高校生はそれぞれ社会人、大学生、専門学校生になり、うち数名がボランティアスタッフとして参加してくれています。

ごはんの会（子ども食堂）

毎月第三土曜日に開催 年間12日
のべ利用者数：116名

地域の方々にもご協力いただき、毎回和気あいあいと、子ども自身でメニューをつくり、調理しています。写真は自由に盛り付けができるピザ作り。



大阪市不登校児童通所事業

場所：住吉区民センター
開設日：火・水・金曜日 年間139日

不登校状態の小・中学生に対し、再登校を含む社会

的自立を支援することを目的として、学習支援や心理治療、集団活動、体験学習などを提供しています。

登録者数：10名（中学校3年生4名、中学校2年生6名）

今年度から週3日の開設となり、1日の開設時間は昨年より長くなりました。子どもの意思を尊重しながら、それぞれの得意分野を生かせるような活動、「できること」「好きなこと」に視点をおいた活動を取り入れました。その結果、作品等ができて、まわりから褒められた、認められた、新しいことにチャレンジできたなど、それぞれの形で自己表現できるようになりました。活動プログラムについては、企画の検討から子どもたちと行い、自らの思いが受け止められる経験を積む機会を設けた。得意なことをスタッフや他の子どもから肯定的にフィードバックされることで、自己肯定感を高めることができたと考えられます。

登録のあった中学3年生全員が進路を決めることができました。当初は学習意欲のなかった子どもも、高校に進学したいという気持ちから学習に取り組むようになり、学習機会の保障にも繋がりました。

大阪市子ども自立アシスト事業

対象：北エリア（東淀川区他 計8区）

本事業は生活困窮者自立支援法に基づき、こどもの貧困の連鎖を断つことを目的としています。生活困窮世帯と生活保護世帯で中学生および高校生世代（未進学者・中退者）がいる家庭に対し、支援員が親子の進学意識を高め、高校への進学に向けたカウンセリング等の支援を行なっています。

今年度は10名の支援員で113名の対象者に年間1,707回の支援を実施しました。

面談と学習支援のほか、高校見学への同行や定期考査の登校支援など外出援助も行いました。

支援件数

	2021年度	2022年度
来所による面談	462件	583件
訪問による面談	519件	889件
オンラインによる面談		38件
関係機関との協議	115件	122件
その他	59件	75件
合計	1,155件	1,707件



地域子育て支援拠点事業

子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的として「つどいの広場」が設置されています。広場では概ね3歳未満の子どもと保護者の方が安心して過ごすことが出来ます。当協会は大阪市1ヶ所、寝屋川市3ヶ所で、つどいの広場を運営しています。



大阪市旭区中宮 1-11-14
旭区民センター内
利用者数（単位：人）

子ども	保護者	合計
2,066	1,871	3,397



寝屋川市三井が丘 3-7-3
三井小学校普通教室棟
利用者数

子ども	保護者	合計
1,139	957	2,096



寝屋川市葛原新町 14-1
府営寝屋川春日住宅1
号棟 103号室
利用者数

子ども	保護者	合計
1,052	750	1,802



寝屋川市木田町 18-1
ピアハイツ 101号室
利用者数

子ども	保護者	合計
1,346	1,349	2,695

広場が育む 人のつながり

コロナ禍で出産し、孤立した子育てをしてこられたAさんは、子どもの幼稚園入園が近づくにつれ、他の子どもと比べて、わが子のできないことばかりが気になりだし、次第に不安やイライラを募らせ、時には子どもに厳しく当たっている姿が見受けられました。

スタッフは試行錯誤を重ねながら対応していましたが、利用者Bさんとの出会いがありました。Bさんも以前同じように自分の子どものできない部分が気になり悩まれ、辛い時期を過ごされた経験があり、Aさんの話を親身になって聞いておられました。Bさんの「わかります。自分もそうでした。」という言葉は、Aさんの不安軽減となる大きなきっかけとなりました。

後に、BさんにAさんがとても喜ばれていたことを伝えると、「私も最初の頃は、先輩のお母さんたちに優しくしてもらい、助けてもらいました。次は自分の番です。」と言われていました。Bさんは今年3月で子どもの成長とともに広場を卒業することとなりましたが、その際、「広場とはつながりを持っておきたいので、何かお役に立てることがあれば…」と、ボランティアとして活動したい旨の申し出がありました。

相談事業



24時間子どもSOSダイヤル電話相談

文部科学省が、いじめ問題やその他の子どものSOS全般に悩む子どもや保護者等が、いつでも相談機関に相談できるよう24時間対応可能な相談体制を整備する事業として進めています。

大阪市では、大阪市子ども相談センターがおこなっ

ている教育相談を補完するものとして、当協会が平日夜間及び休日の電話対応をしました。

大阪府内（大阪市、堺市以外）では、大阪府教育センターがおこなっている教育相談を補完するものとして平日夜間及び休日の電話対応をしました。

コロナ禍に SNS 相談などが開設されましたが、子どもが文字だけではなく、生の声で人とのつながりを感じながら、気軽に相談できる相談のひとつとして、「相談して良かった」と思ってもらえるように、相談者の声にじっくりと耳を傾け、常に子どもの最善の利益を念頭におきながら業務を続けています。

受付件数

大阪市	本人	1,045 件	1,989 件
	保護者	944 件	
大阪府	本人	139 件	776 件
	保護者	637 件	

虐待対応ダイヤル「189」等電話相談

ダイヤル 189 は、虐待かと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。

大阪市と堺市以外の児童相談所（中央、池田、吹田、東大阪、富田林、岸和田の子ども家庭センター）につながる通告等の電話を、センターの閉庁時間帯、平日夜間（17：45 から翌朝 9：00）と休日（24 時間）に受け付けています。また、同時帯に大阪府が設置する「夜間休日虐待通告専用電話」、「子ども専用子どもの悩み相談フリーダイヤル」の 2 回線にも対応しています。

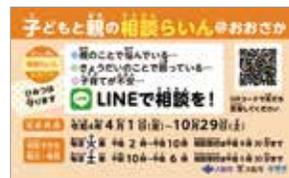
子ども専用子どもの悩み相談フリーダイヤルは、平日 9：00 から 17：45 の開庁時間も対応する委託を受けています。

受付件数

回線区分	2021 年度	2022 年度
ダイヤル 189	4,685 件	2,967 件
夜間休日虐待通告	1,422 件	1,160 件
子どもの悩みフリーダイヤル	6,097 件	3,272 件
合計	12,204 件	7,399 件

SNS を活用した児童虐待防止相談

SNS を活用した児童虐待防止相談事業は大阪府、大阪市、堺市が共同で実施している事業です。



4 月から 10 月は、毎週火曜日と土曜日の 2 日間、時間帯は平日 14 時から 22 時、休日 10 時から 18 時。子どもの長期休暇（春休み、夏休み）中は毎日実施しました。11 月から 1 月は毎日実施となり、2 月からは厚生労働省の「親子のための相談 LINE」システム導入のため平日、休日の区別なく、毎日 10 時から 20 時の運営となりました。

受付件数

エリア	子ども	保護者	合計
大阪府	585 件	959 件	1,544 件
大阪市	325 件	759 件	1,084 件
堺市	102 件	198 件	300 件
未回答	8 件	104 件	112 件
合計	1,020 件	2,020 件	3,040 件

児童虐待相談における児童の安全確認等業務

本事業は子ども家庭センターへ通告があったケースの中で比較的軽微なものに関して、48 時間以内の当該児童の安全確認や保護者との面談を行う、大阪府の虐待防止体制強化の一端を担うものです。

訪問件数

エリア	訪問回数	確認済件数
中央	264 回	155 件
東大阪	181 回	89 件
合計	445 回	244 件

今年度依頼が増えた「他児童相談所からの引き継ぎ」では、対応歴のある家庭の転居に伴い、新生活がスムーズに開始されているかの確認と心配事の聴き取り、各子ども家庭センターを新しい担当相談先として案内することが求められている。転居による支援の断絶を生まないためにもその意義は大きく、今後増加が予想されます。

子どものためのLINE相談

相談受付件数：184件

子どもたちが気軽に相談できるよう、通信アプリLINEを使った相談事業を行っています。



相談時間：毎週水・金曜日 17:00～21:00

対象者：大阪府内在住の小学4年生～高校3年生

寄せられた子どもたちの声

【小学生高学年】

過去に嫌がらせをされてから学校に行きたくなくなり保健室登校していたが、それもできなくなった。嫌がらせを受けたことは、親や先生には相談していない。親と一緒にカウンセリングも受けてみたが、対面で緊張し、学校に行けない理由は言わなかった。友人とも会いたいし、将来のことを考えると、学校には行きたいと思っている。

【中学生】

成績で「C」を取ってしまった。大学への推薦がなくなり、高校への進学も心配である。親や先生からも見捨てられている。先生との面談では、前向きに勉強に励む方向ではなく、落ち込んでしまうようなネガティブな言葉掛けをされる。勉強ができるようになりたいし、頑張っていることを先生にも理解して、前向きに頑張れるようになりたい。

【高校生】

受験のストレスでメンタルをやられている。精神科を受診することになったが、行くのに勇気があるし、話すのに緊張する。

最近、悪いこと続きで死にたいと思うことも増えてきた。今日もリストカットに及んでしまった。

もうすぐ卒業式の練習が始まる。人前に出ること恐怖を感じる。どうして簡単に生きていくことができないのか。もう限界で死にたい。



大阪府放課後児童支援員認定資格研修

この研修は放課後児童支援員として必要となる知識及び技術を習得し有資格者となるための研修です。大阪府の委託により2015年度から実施しています。

2022年度は9回実施（1回は4日間）し、受講完了者は657名となりました。

東大阪市留守家庭児童育成クラブ職員総合研修

東大阪市の委託により留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の職員研修を以下のように実施しました。

- ・初任者研修 4日間実施 受講者 216名
- ・専門研修 4日間実施 受講者 258名
- ・テーマ別研修
 - 全体 4日間実施 受講者 171名
 - 中堅 8日間実施 受講者 290名
 - 主任 4日間実施 受講者 171名

泉南市留守家庭児童会研修

実施日及び受講者数

10月7日 受講者41名、11月15日 受講者42名

大阪府市町村スーパーバイザー研修

大阪府内（大阪市、堺市を除く）市町村児童福祉主管課におけるスーパーバイザーを対象とした研修会を大阪府の委託により実施しました。

実施日及び受講者数

12月20日22名、1月26日24名、2月8日25名

2022 年度会計報告

貸借対照表

(単位：円) 令和5年3月31日現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	233,131		
普通預金	73,971,530		
現金・預金計	74,204,661		
(売上債権)			
未収金	16,218,354		
貸倒引当金	△ 99,000		
売上債権計	16,119,354		
(その他流動資産)			
前払費用	1,745,520		
その他流動資産計	1,745,520		
流動資産合計		92,069,535	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	1,785,600		
有形固定資産計	1,785,600		
(投資その他の資産)			
保証金	5,287,300		
投資その他の資産計	5,287,300		
固定資産合計		7,072,900	
資産の部合計			99,142,435
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	15,600,047		
前受金	5,000		
預り金	1,383,954		
未払法人税等	1,123,500		
未払消費税	3,793,300		
流動負債計		21,905,801	
負債の部合計			21,905,801
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	64,386,247		
当期正味財産増減額	12,850,387		
正味財産計		77,236,634	
正味財産の部合計			77,236,634
負債・正味財産合計			99,142,435

収益金額 推移



活動計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

[税抜] 単位：円

【経常収益】	
受取会費	233,000
受取寄付金	453,844
受取助成金	200,000
受取補助金	321,000
受託事業収益	210,387,258
その他事業収益	1,339,094
受取利息	719
雑収益	7,791,837
【経常収益】合計	220,726,752
【経常費用】	
【事業費】	
人件費	164,457,206
その他経費	30,443,535
事業費計	194,900,741
【管理費】	
人件費	7,916,071
その他経費	3,478,037
管理費計	11,394,108
【経常費用】合計	206,294,849
当期経常増減額	14,431,903
【経常外収益】	
【経常外収益】合計	0
【経常外費用】	
固定資産除去尊	458,016
経常外費用計	458,016
税引前当期正味財産増減額	13,973,887
法人税、住民税及び事業税	1,123,500
当期正味財産増減額	12,850,387
前期繰越正味財産額	64,386,247
次期繰越正味財産額	77,236,634

役員名簿

役職	氏名
代表理事	峯本 耕治
常務理事	薦田 夏
理事	松浦 善満
	木野 稔
	満田 育子
	代田 盛一郎
監事	金 文子
	新居 誠一郎



特定非営利活動法人 関西こども文化協会

〒540-0037

大阪市中央区内平野町1-3-12 ajディナスティ大手前ビル201号室

電話 06-6809-5613 FAX 06-6809-5614

受付時間 平日9時30分～18時 土日祝は休業

Email office@kansaikodomo.com

URL https://kansaikodomo.com